

# ザ・スクチャンネル

## 令和7年5月号



# 映画の歴史と魅力

私たちの娯楽である映画は毎年世界中で数え切れないほどの作品が製作・公開されています。また映画は人の心を豊かにし、人生をより充実させる力を持っています。身近にあるからこそ意外と知らないことも多いのではないでしょうか。今回はその映画についてご紹介していきたいと思います。

## ～映画の歴史～



### 映画の始まり

映画の始まりは 1888 年。トーマス・エジソンがシカゴ万国博覧会で発表したのが始まりです。世界初の映画は「キネストコープ」と呼ばれる手法で、のぞきめがね式の装置の中でフィルムを回転させ、「写真を使った動く映像」を 1 人で鑑賞するスタイルのものでした。

### 無声映画からトーキーへ

1900 年代初期の映画は、しばらくサイレント(無声映画)が主流でした。それに対して、サイレントの映像に別録りした音声を同期させた作品が生まれ、「トーキー」と名付けられました。トーキーの初期は映画フィルムとは別にレコード盤を回して音声を出していたため、同期が難しく、録音や再生技術の問題で音質も良くありませんでした。

### モノクロからカラーへ

トーキー映画の誕生からわずか 5 年後には、さらなる変化の波が起きます。「三原色式改良版テクニカルカラー」の使用です。これにより、色彩あるカラー映画を楽しめるようになりました。数年後には、「マルチプレーンカメラ」という 3 次元の奥行き表現を可能とするカメラが登場するなど、撮影技術も徐々に変化していきます。

### 映画界のデジタル時代の幕開け

1980 年代になると、まさにデジタル革命ともいえる作品が公開されます。スティーブン・リズバーガー監督の実写映画『トロン』(1982 年公開)です。『トロン』は、映画で初めてデジタル技術に挑戦した先駆けといえる作品でした。劇中では、15 分、286 ショットで CG を使用し、当時としては革新的な映像世界を生み出しています。



## 映画鑑賞のメリット



### ☆ストレス発散

実は、映画によるストレス発散は学術的にも証明されています。例えばコメディ映画を見た人は、そうでない人と比べて血流がよくなったという研究があります。その効果は医療で使われる薬と同じレベルだそうです。

### ☆感性を磨ける

映画を見て感じたことを文字・言葉にしてみることがオススメです。感じたことを言語化するということは意外と難しいので、それだけでも感性は磨かれます。

### ☆知識を学べる

映画を見たからといって頭が良くなるわけではないですが、映画で得た知識をきっかけにその分野について深く知る機会を得ることができます。



### ☆話のネタになる

映画は全世代に共通する話題となるので、コミュニケーションのきっかけになります。

### ☆人生の教科書

映画には自分と違う生き方や自分にはない選択をした主人公がたくさんいます。他人の人生をみることで、自分の人生の生き方のヒントを得られるのです。



## 放映時間が2時間前後なのはなぜ？

主に「集中力」の問題です。

人が集中できる時間というものは限られています。その集中が保てる時間というものが大体 2 時間前後とされているため、おおよそ 90 分～180 分で構成されているようです。

子供向けの映画に関しては、60 分前後が主流となっていますので、子供の集中力が持続する時間もこのくらいのようです。